

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要項

はじめに

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会（以下、「同友会」という。）の会員が所属する企業および団体（以下、「企業」という。）と神奈川県内の大学が中心となって行う、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。

本プログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマにあげ、それに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的に取組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。

また、企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち、意思疎通を図ることにより、就職等でのお互いのミスマッチをなくし、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得ることとなり、企業にとっても学生のアイデアを事業のヒントとして活かせる好機ともなります。

I. 趣旨

本プログラムは、企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、神奈川県内に拠点を置く大学が中心となって、各テーマにチャレンジする学生を募り、提出された研究成果に対して企業が審査を行い、優秀なレポートについては企業、大学、学生等の関係者による表彰式において、その努力、才能を評するものです。

次の点が特徴として挙げられます。

1. 企業、大学、学生による産学連携の形で実施され、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムです。
2. 多岐にわたるテーマは、社会・人文科学系あるいは技術系を問わず、学生にとり、広く研究が可能であり、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされます。
3. 企業にとっては知名度のアップや学生の斬新なアイデアの取込み、優秀な人材の発掘、大学にとっては学内の活性化と企業が目指す方向性の認識等の波及効果が期待できます。

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要項

II. 経緯

同友会の教育文化委員会では、平成14年5月、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップやミスマッチの解消のための諸施策を企業、大学へ提言しました。

平成15年1月末、県内5大学、すなわち横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、神奈川大学、東海大学との間で産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」を発足させ、その連携の一つの試みとして、学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的に、平成16年に「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」をスタートさせました。その後、この事業は更に発展、充実し、大きな広がりを見せております。

平成29年に実施した第13回神奈川産学チャレンジプログラムでは、34の企業から37の研究テーマの提示があり、これに対して20大学、266チーム、1,032人の学生から研究成果としてレポートが提出されました。そのレポートに対する厳正な審査の結果、優秀なレポートを提出した72チームに対し、最優秀賞21、優秀賞51が決定され、企業、大学、学生等の関係者約500人参加による表彰式において、表彰状と褒章金が贈呈され、その栄誉を称えました。

III. 実施概要 詳細は「実施細則」をご参照ください。

1. 学生チームの募集 4月上旬～**5月9日(水) 17:00【本学締切】**

テーマ毎に、参加チームの募集を行います。

締切日時までに必要書類のご提出をお願いいたします。

2. 研究テーマの決定 → **6月15日(金)を予定**

大学からチームリーダー宛に連絡します。

3. チームへの説明会 → **6月中を目途に実施予定**

テーマ提示企業がチームに対して、テーマに関する説明会を開催します。

4. テーマの研究とレポート提出 **10月3日(水) 17:00【本学締切】**

研究期間は各企業の説明会終了後～9月末までです。

参加チームは、研究テーマの研究成果を「研究レポート」として、大学にデータで提出してください。

※レポート提出に関しては、別紙の「レポート作成規定」をご参照ください。

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要項

5. 審査結果の発表 11月26日(月)を予定

審査結果を大学からチームリーダーに通知します。

6. 表彰式 → 平成30年12月18日(火)

本プログラムでは表彰式が開催されます。

表彰式には、最優秀賞および優秀賞を受賞したチームが招待され、企業より賞状・賞金が授与されます。また、最優秀賞の中から数チームが、プレゼンテーションを行います。

以上

神奈川産学チャレンジプログラム担当係

横浜国立大学 学務部学生支援課

学生支援係 (学生センター2階2番窓口)

TEL : 045-339-3134

Email : sangakuchallenge@ynu.ac.jp

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則

1. 学生チームの募集

(1) 応募方法

参加を希望する学生チームは、下記2点に必要事項を記入し**紙媒体及びメールにデータ添付し担当係(学生支援係)まで**ご提出ください。

【提出書類】

- ① 神奈川産学チャレンジプログラム 参加申込書 (参加学生用)
- ② テーマ希望表 (1次)

【提出先】

紙媒体：**横浜国立大学 学生支援課 学生支援係** (学生センター2階2番窓口)

データ：sangakuchallenge@ynu.ac.jp 宛

応募締切日は、**5月9日(水) 17:00【本学締切】**です。

時間厳守をお願いいたします。

申し込みの際して、メールアドレスや電話番号の記入に誤りがないか必ずご確認ください。

(2) チーム編成

- ・チームの構成人数は**6人**までとします。
構成人数は企業によって異なることがありますのでご注意ください。
- ・チームにはリーダーとサブリーダーを1人ずつ置いてください。
参加企業からの連絡はこの2人に対して行います。
- ・1人で応募する場合は、その方がリーダーとなります。
- ・同じ学生が、複数のチームに所属することはできません。
- ・メンバーに変更があった場合は、すみやかに大学へ報告してください。
- ・チームが本プログラムへの参加を途中棄権する場合は、速やかに担当係(学生支援係)および参加企業へ報告してください。

(3) テーマの選択

テーマを選択する際は、各テーマの受入可能チーム数及び人数制限にご確認ください。

また、過去に応募多数のテーマを参考にしてください。

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則

2. 研究テーマの決定

- (1) 1次募集 募集期間：4月上旬～**5月9日(水) 17:00【本学締切】**
 - ・参加企業の受入チーム数を上回る応募があった場合は、提出いただいた「テーマ希望表（1次）」に記載された志望動機を考慮して、参加企業が選定します。
 - ・応募結果は、担当係（学生支援係）から**5月31日(木)を目途**にチームリーダーにご連絡いたします。

- (2) 2次募集 **6月1日(金)～6月7日(木) 17:00まで【本学締切】**
 - ・希望したテーマに当選しなかったチームに対して、2次募集の案内をチームリーダーにご連絡いたします。（受入残数が生じたテーマについてのみ2次募集を行います。）
参加企業の受入残数を参考にして、「テーマ希望表（2次）」に第1希望から第5希望まで記入のうえ、1次募集の際と同様に担当係（学生支援係）に紙媒体及びデータを提出してください。
 - ・希望チーム多数の場合は、同友会にて選定されます。
 - ・応募結果は、担当係（学生支援係）から**6月15日(金)を目途**にチームリーダーにご連絡いたします。

3. 企業からの説明会

- (1) 開催日 **6月中を予定**（日程は企業ごとに異なります。）
 - ・テーマ選択企業から、参加チームに対して説明会が実施されます。
開催時期はおおむね6月中を予定しており、各参加企業より案内があります。
 - ・「神奈川産学チャレンジプログラム 参加申込書（参加学生用）」の記載に不備があると、企業と連絡が取れず、失格となる恐れがありますのでご注意ください。

- (2) 説明内容
企業概要、テーマ設定の背景、調査・研究のポイントと期待する内容、知的財産権の取扱い、審査基準、賞金の内容等の説明がございます。

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則

4. テーマの研究とレポート提出

(1) レポートの作成

- ・研究期間は、チームへの説明会があった時から、9月末までとなります。
- ・レポートの作成方法は、「レポート作成規定」をご参照ください。

(2) レポートの提出 **10月3日(水) 17:00【本学締切】**

- ・レポートはメールまたはUSBメモリ等で、データを担当係(学生支援係)に提出してください。
- ・一度提出したレポートの内容変更はできませんので、ご注意ください。
- ・レポートはオリジナルをお願いします。
不正があった場合は失格になりますので、ご注意ください。
- ・提出されたレポートは、参加企業帰属するものとし、返還はいたしません。
- ・知的財産権の取扱いについては、参加企業の指示に従ってください。
- ・提出したレポートの外部公開については、参加企業の指示に従ってください。

5. 参加企業の審査 審査期間は10月上旬～11月中旬 予定

- ・審査は、書類審査とプレゼンテーションを組み合わせで行われますが、具体的な方法については、「神奈川産学チャレンジプログラム 提示テーマ」及び参加企業の説明会でご確認ください。
- ・参加企業がプレゼンテーション審査を実施する場合は、実施時期は10月中旬～11月中旬となります。

6. 審査結果の発表 11月26日(月)頃 予定

- ・担当係から、チームリーダーに対して審査結果を通知します。
- ・審査表には、入賞または選外の記載があります。ただし、入賞されたチームに関して、この時点では、最優秀賞、優秀賞であるかはわかりません。発表は、下記表彰式内で発表されます。

第15回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則

7. 表彰式 12月18日(火)

- ・担当係(学生支援係)から招待状をチームリーダーにお送りいたしますので、出欠についての回答をお知らせください。
- ・最優秀賞を受賞したチームには、参加企業の代表から表彰状が授与されます。
- ・賞金として、最優秀賞に10万円、優秀賞に5万円の現金もしくは金券等が参加企業より授与されます。
- ・最優秀賞を受賞したチームから数チームに、壇上でプレゼンテーションをしていただく予定です。(発表依頼があった場合は、担当係(学生支援係)から別途ご連絡をいたします。)

以 上

神奈川産学チャレンジプログラム担当係

横浜国立大学 学務部学生支援課

学生支援係 (学生センター2階2番窓口)

TEL : 045-339-3134

Email : sangakuchallenge@ynu.ac.jp